

市民フォト

ふくしま夢つうしん



2020 APRIL

Fukushima YUME-tsushin



CONTENTS

2 特集 昭和の偉大な作曲家
古関裕而と福島市

6 心が動く美しいをめぐる小さな旅
一本桜の妙

インフォメーション

8 もうすぐ!!
オリンピック・パラリンピック Vol.6



五線紙に向かうと音楽がどんどん湧いてくる

昭和の偉大な作曲家 古関裕而と福島市

「栄冠は君に輝く」「オリンピック・マーチ」など、時代を越えて今なお歌い継がれる古関メロディー。激動の昭和を音楽で人々に寄り添い続けた古関裕而さんは、福島市の名誉市民第一号です。オリンピックキヤーの春号は、3月30日スタートの連続テレビ小説「エール」のモデルでもある昭和の偉大な作曲家、古関裕而さんの特集します。



古関裕而生誕100年記念モニュメント (JR福島駅東口)



古関裕而記念館 (入江町)

古関裕而生誕の地記念碑 (大町)

生家は福島市 大町の呉服店

1909 (明治42)年8月11日、古関裕而さん (本名 勇治) は、福島市大町の呉服店に生まれました。現在、大町には生家の跡を示すモニュメントがあります。

呉服店には、音楽好きだった父親が購入した蓄音機があり、裕而さんはレコードを聴きながら絵を描くのが好きな子どもだったようです。小学校では、担任の先生が大変な音楽好きでした。自伝には「私たちにも童謡を作らせるほどに、音楽教育に熱心な方であった」とあります。授業だけでは物足りなくなり、市販の楽譜を買うようになった息子の姿に、母親が黒鍵まである卓上ピアノを購入します。その日からピアノに夢中になり、小学校を卒業する頃には、楽譜が読めて作曲も五線紙に書くようになっていたそうです。



小学生の頃の家族写真 (左が裕而少年)

福島商業高校でも 音楽漬けの毎日

1922 (大正11)年4月、家業を継ぐため福島商業高校に入学した裕而さんは、高校でも音楽漬けの日々を送ります。高価な楽譜を何枚も購入し、本格的な作曲・編曲も始めます。高校の先輩が主宰する「福島ハーモニカ・ソサエティ」の定期演奏会で自身が編曲した「ウィリアム・テル序曲」を合奏したり、年上の友人が中心となって活動していた「火の鳥の会」主宰のレコードコンサートに出掛けたりしていたようです。

裕而さんは約45年間、さまざまなジャンルの作品を作り続け、その数は約5千曲にも及ぶといわれます。今も人の心に寄り添い続ける古関メロディーに耳を傾けながら、名作曲家が生まれたまちを訪ね歩いてみてはいかがでしょうか。



福島商業高校時代

出典：古関裕而自伝「鐘よ鳴り響け」

連続テレビ小説



放送時間 毎週月曜～土曜
(土曜は1週間を振り返ります)

NHK総合 午前8:00～8:15
BSプレミアム BS4K 午前7:30～7:45

「エール」制作統括 土屋勝裕さんのコメント

連続テレビ小説「エール」は、古関さん夫婦をモデルにしたフィクションですが、ドラマには古関裕而さんの曲が数多く登場しますので、楽しみにしてください。

福島では昨年10月にロケを行いました。台風で被災された方たちもいらつしやる中で、皆さまには撮影のために多くのご協力を頂きました。ドラマのタイトルバックには福島島の美しい森の中で撮影した映像が流れます。豊かな自然にあふれる福島島の魅力、温かい人たちの魅力をドラマで伝えていきたいと思っています。

窪田正孝さん

(古山裕一役) コメント



主人公 古山裕一役
窪田正孝さん

裕一を演じるにあたり、古関さんをよく知る方にお話を伺う機会があり、皆さん、古関さんの味方というか、古関さんの誰も敵に回さない人柄を感じました。誰かを憎んだり、怒ったりすることはあっても、古関さんはそれを別の愛情に変えている気がしています。周りに少し煙たがられても、音楽の力や自身の人柄で大きく包み込んでいるイメージがあるので、そこを大事にして演じていきたいと思っています。

古関さんのふるさとである福島でのロケでは、1000人を超える地元エキストラさんの前でハーモニカを



福島ロケ (2019.10) も行われた。主人公・古山裕一のこども時代や高校時代のシーンを中心に撮影。ロケには、町の人々や高校生の役などで地元の方たちのべ240人が参加。



吹くシーンを撮影しました。正直、最初はプレッシャーがあったのですが、ワンカット終わるたびに、皆さんが拍手を送ってくださって、1曲終わるたびにエールを送ってくださり、背中を押していただきました。すごく温かくて力強いシーンになったと思いますので、ぜひ楽しみにしてください。

闘魂こめて

みんな
歌えば
気分は最高



読売ジャイアンツ応援団 団長
丸山 順二郎 さん
東京都葛飾区在住
3歳の時からジャイアンツファン。
1994年応援団に入団。2006年から
2008年まで3年間と、2011年から現
在に至るまで応援団長を務める。

読売ジャイアンツ球団歌「巨人軍の歌」闘魂こめては、球団30周年記念で作られた歌だと聞いています。作曲家が福島市出身の古関裕而さんというのを知っています。歌いやすいメロディーですよ。年間に70〜80試合くらい球場に足を運んで、毎回ノリノリで歌っています。やっぱり選手の応援歌とか球団歌というのは、流れてくると高揚します。特に7回の攻撃前、ラッキーセブン！みんなで歌えば、気分は最高潮に達します。勝った時は、最後にまた流れるのでまた歌っちゃう。

「闘魂こめて」は、これからも大切に歌い続けていきたいと思っています。今年は、オリンピッククイヤーで、開幕戦も早いので応援の練習も早めに始めました。ぜひ東京ドームと一緒に「闘魂こめて」を歌って応援しましょう。



作曲当時の六大学リーグ、早大の応援

「紺碧の空」は勝利を呼び込み、勝利を喜ぶ曲。応援部として試合の前に歌う「紺碧の空」には、選手と観客を一つにし、会場の空気を作る大きな力があり、気持ちが入ります。誰に教わることもなく、早大生なら誰でも歌える「紺碧の空」はまさに早稲田の魂。
東京六大学野球において現在4年間優勝から遠ざかっている早大にとって、今こそ応援の力が必要な時。「紺碧の空」のもと、今年こそは覇者に！



古関メロディー

昭和から令和へ スポーツ界を照らし続ける

日本プロ野球史上最も古い球団歌で、球団設立時に作られた阪神タイガース応援歌「大阪タイガースの歌（六甲おろし）」は、私が初めて買ったレコードです。球団名が「大阪」から「阪神」になったことで、その部分は変わりましたが、80年以上歌い継がれています。何十年前前に、今風の曲に変えようとしたらファンが猛反対して球団が断念したというエピソードがあるほど愛着のある歌です。試合前は当然のことながら、試合の中盤や点が入った時も歌います。僕らにとっての「六甲お

ろし」は、アメリカ人が胸に手を当てて「星条旗よ永遠なれ」を歌うのと同じような意味を持っているように思います。「六甲おろし」の生みの親、古関裕而さんの今年の野球殿堂入りはなりませんでしたが、来季以降に期待しています。我々も誇りを持って六甲おろしを歌い続けます。

初めて買ったレコードが六甲おろし

阪神タイガース応援団
久保 芳秀 さん
東京都品川区在住
四国出身の父の影響でタイガースのファンになる。まだ球場で誰もユニフォームを着ていなかった1982年に「KUBO」のユニフォーム姿で応援していたところ、応援団に誘われて入団。



六甲おろし



令和元年6月「絆まつり福島」でのステージ



ふくしま古関楽団2020
関河 志裕 さん
福島商業高校3年
担当楽器：チューバ

1964（昭和39）年東京オリンピックの開会式で演奏された『オリンピック・マーチ』。大戦中に数多くの軍歌を作曲した古関裕而さんは、平和の祭典であるオリンピックの曲作りを喜び、復興と平和への強い思いを込めた。

オリンピック・マーチ

中盤のトリオで感動を誘い、最後のクライマックスで一気に盛り上がる。「オリンピック・マーチ」は、演奏者も共に楽しくなる曲です。演奏会でお客さまが「オリンピック・マーチ」を聴いて涙を流しているのを見ると、皆さんの心に残っている曲だと実感します。

古関先輩がこの曲に込めた思いを、楽団員1人1人がそれぞれに受け止めて、来るべき東京オリンピックの開会式で演奏し、世界中の方に福島の元気を伝えることが夢です。

※トリオ：「マーチ」における中間部分



撮影：市民カメラマン梅津直樹

まだまだある！ ふくしまの 一本桜

芳水の桜

水面に垂れる桜花と、その樹形の美しさから写真愛好家に人気がある。

【例年の見頃】4月上旬～中旬
JR松川駅より車5分
【駐車場】無し
所在地：福島市松川町金沢



全国的にも有名な「花見山」をはじめとして、春の桜やハナモモ、初夏のクマガイソウ、ツツジ、アヤメ、夏のアジサイ、高山植物、秋のハギ、ジュウガツザクラなど、季節の移ろいととも、美しい花々が咲き誇る福島市。
今号は、その壮麗な美しさで人々を惹きつける一本桜の特集。さあ、ふくしま花回廊の旅に出掛けよう。

撮影：市民カメラマン梅津直樹

ふくしま
花回廊
一本桜の妙
心が動く美しいさくら旅

赤岩種蒔桜



飯野町大久保の赤岩山の麓に立っているエドヒガンザクラの古木。稲荷神社の鳥居手前に重ね餅のような巨石があり、その傍らに根を下ろしている。

【例年の見頃】4月中旬～4月下旬
福島交通バス飯野行き 飯野町下車 徒歩30分
【駐車場】無し
所在地：福島市飯野町大久保

浄楽園のしだれ桜



室町時代の趣きをたたえる東北有数の純日本庭園。静寂の中に行む樹齢約150年の薄紅しだれ桜は一見の価値あり。

【例年の見頃】4月中旬
福島交通バス土船行き 原の町下車 徒歩10分
車：福島西IC・福島大生世ICより15分
【駐車場】普通：50台
所在地：福島市桜本字荒神

大蔵寺のしだれ桜



国の重要文化財に指定された千手観音がある大蔵寺の大桜。樹齢約300年のしだれ桜で、周辺に咲くレンギョウとのコントラストが美しい。

【例年の見頃】4月中旬
JRバス川俣行き 小倉寺下車 徒歩20分
車：福島西ICより25分 【駐車場】普通：25台
所在地：福島市小倉寺字拾石

諏訪山の桜



県道福島安達線沿い（旧奥州街道）の諏訪神社境内にあるしだれ桜。江戸時代初期、仙台藩を治めていた伊達政宗公から贈られた桜と伝えられている。

【例年の見頃】4月上旬～中旬
JR松川駅より車5分
所在地：福島市松川町諏訪山

西郷の夫婦桜



鎌倉時代、源頼朝が奥州征伐の際、神に対する心札を込め、神社境内に植えたと伝えられている。

【例年の見頃】4月上旬～中旬
JR松川駅より車15分
所在地：福島市松川町竹ノ内

福島の花々の魅力を広めた立役者 秋山庄太郎 生誕100周年



日本を代表する写真家、秋山庄太郎さんは、花見山を訪れ「福島には桃源郷がある」という言葉でその美しさを全国に紹介しました。本市のPRに大きく貢献した功績から、2001年、ふるさと栄誉賞を受賞しました。

慈徳寺の種まき桜

慈徳寺からは福島市街が一望でき、桜越しに広がる景色も絶景。昭和45年、福島市の天然記念物に指定される。

【例年の見頃】4月中旬
電車：JR福島駅下車→福島交通バス（佐原行）→あづま陸上競技場下車→徒歩20分
車：福島西ICから13分（大型可）
【駐車場】普通：100台（大型可）
所在地：福島市佐原字寺前9



古くから人々に愛されてきた一本桜

慈徳寺住職（第二十六世）
飯東 俊幸 さん
会津出身。2015（平成27）年4月、慈徳寺住職を拝命。近年、「種まき桜」を将来にわたって残すため檀家さんと相談し、今年から3年計画で土の入れ替えを行う予定。

桜と本堂が奏でる春の調和

樹齢約300年のシダレザクラ
見頃は4月中旬から下旬

「種まき桜」の孫桜、坂道の途中に咲くエドヒガンザクラも必見

JR福島駅から車で西へ約20分。室町時代、伊達政宗の父、輝宗の発願により開山したと伝わる慈徳寺は、あづま総合運動公園からほど近い里山にあります。

桜は、気温が上がって満開を迎える頃はもちろんですが、ハラハラと散りゆく桜も風情があつていいものです。市内松川町にある「芳水の桜」は、種まき桜から枝分けした木で、慈徳寺の境内にはその「芳水の桜」から枝分けをした桜があります。つまり「種まき桜」の孫桜にあたります。

本堂の前にあるのが、福島市の天然記念物に指定されている「種まき桜」です。名前の由来は、古くからこの桜の開花を目安に種を蒔いたことによります。樹齢約300年のシダレザクラは、毎年中心市街地より約1週間遅れて咲き出します。今年も4月中旬から下旬あたりが見頃でしょうか。まず本堂に手を合わせてから愛でていただければありがたいです。

また、慈徳寺に向かう坂道の途中の杉木立に囲まれるように立つ一本桜は、福島市指定保存樹になっているエドヒガンザクラです。開花期間中は、午後6時から9時までライトアップするほか、檀家女性部によるお茶の振る舞いもありますのでぜひ、お出掛けください。

※松川町金沢にあるシダレザクラ。詳しくは左ページ。

春爛漫



投稿者：yuka18.11 撮影地：桜づつみ公園



投稿者：uta_toshi 撮影地：畜産試験場



投稿者：uta_toshi 撮影地：右輪台



投稿者：tk_km__113 撮影地：大笹生



投稿者：3rdeye_landscape 撮影地：大森城山公園



投稿者：apomatsuura 撮影地：波来湯

写真は、2019年4月~6月に開催した「わくわくふくしま インスタMAPフォトコンテスト2019春」の受賞作品です。



もうすぐ!!

オリンピック・パラリンピック Vol.6



野球・ソフトボール 開催!!

東京2020大会に向けておもてなし力を身に付けよう!
おもてなし研修会を開催しました



▲知的障がい・発達障がいの疑似体験を通して障がいのある方への心遣いを学ぶ参加者



▲参加者同士で車いすを使って実際に車いす介助を体験しました

2月9日、NPO法人ふくしまバリアフリーツアースセンター長の佐藤由香利さんを講師に、障がいのある方へのおもてなし方法として、知的障がい・発達障がいの疑似体験や車いす利用者への介助体験などを通じた心のバリアフリーを学びました。

佐藤さんは「まずは笑顔を添えて“何かお手伝いすることがあれば教えてください”などの声掛け、優しい気持ちでの見守りから始めてみましょう」と参加者に呼びかけました。

好評に終わったおもてなし研修会は、今後も東京2020大会に向けて継続して行う予定です。国内外から訪れるたくさんの観戦者の皆さんに、おもてなしを通して福島市の魅力を発信していきます!

市民フォト・ふくしま夢通信



2020年4月1日発行

2020年4月号 No.41



編集発行 福島市役所 広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎024-525-3710 FAX024-536-9828
E-mail:kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信
バックナンバーは
市ホームページ!



📷 表紙紹介

にぎわいを待つ福島駅前

福島駅東口から伸びる駅前通り～レング通り(古閑裕而ストリート)には、「古閑裕而のまち」や「オリンピック・パラリンピック」のフラッグが並び、沿道各所で古閑裕而や「エール」の関連イベントも行われる。